別紙 3-3

事業スキームと事業スケジュール

（平成 30 年度実施「民間活力導入可能性調査」の概要）

1．事業スキーム

（1） 検討経緯

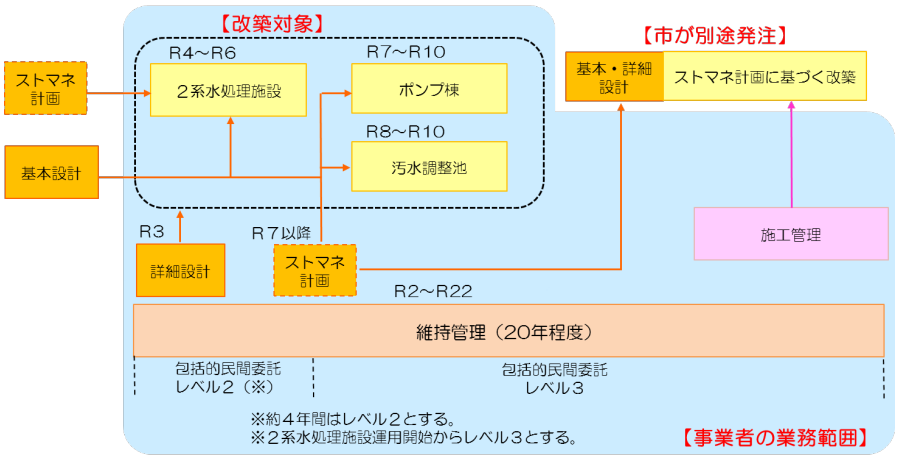
① 検討当初は、漸増する汚水量に対応するため 1 系と 2 系を併用で運転し、将来的に汚水量が減少した後に 1 系を停止し、その後、第 2 期・第 3 期の改築を行う計画であった。（このため、第 1 期計画と第 2 期・第 3 期計画を分離発注するスキームを想定しており、基本設計や PSC 算出は、第 1 期計画のみを対象とした 1 系＋2 系の併用運転という前提で実施）

② ①の条件で事業スキームを検討した結果、民間活力導入の効果は認められるものの、細かな課題も明らかとなってきた。

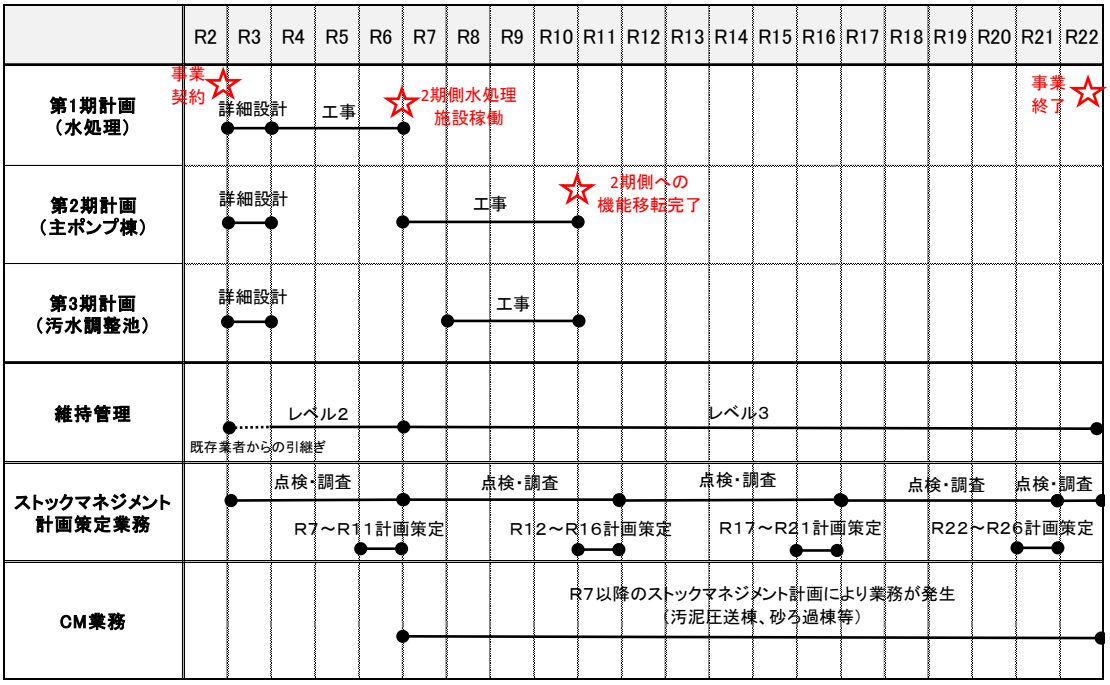
③ 民間事業者へのヒアリングを行った結果、2 系水処理施設単独で処理できる可能性が高まったため、2 系供用と同時に 1 系を停止する前提で事業スキームを検討した。

④ 検討の結果、第 1 期から第 3 期までの改築と、長期の維持管理を一体的に DBO 方式で発注する事業スキームとなった。（結果、事業費の削減、早期耐震性の確保、民間活力導入効果の向上などが期待できる）

（2） 事業スキームの詳細



【事業スキームの説明】

- 改築の対象は第 1 期～第 3 期
- 維持管理の対象は、処理場内の既存施設と改築後の施設とし、20 年間の長期を想定
- 本市が策定する第 1 期ストックマネジメント計画以降の計画策定業務を含む
- ストックマネジメント計画に基づき、別途市が発注する工事の施工管理を含む

2．事業スケジュール